

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第1学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「クラスの生活をよくするために」（内容項目：C-11 公正、公平、社会正義）
- 2 教材名「席替え」（出典「新訂 新しい道徳」東京書籍）
- 3 主題設定の理由

公正さを重んじるということは、私心にとらわれて事実をゆがめることを避けるように努めることである。公正について、道理にかなって正しいことを自ら認識し、それに基づいて適切な行為を主体的に判断し、実践しようとするのが大切だと考える。また、公平に接するためには、偏ったものの見方や考え方を避けるよう努めるのが大切である。自分と同様に他者も尊重し、誰に対しても分け隔てなく公平に接し続けようとするのが大切だと考える。

本学級の生徒は、他者を思いやり仲良く生活しているものの、自己中心的な考えや偏った見方から他者に対して不公平な態度をとったり、不正を見て見ぬふりしたりすることがある。そのため、学級で何かを決めるときには、全員が納得する方法を考えてそこから話し合うことを大切にするとともに、生徒が都合の悪いことを避けようとしている時は、本当にそれでいいのか、学校や学級の一員としてあるべき姿を生徒に考えさせてきた。

本教材は、席替えの際、一部の生徒が決まりを破って勝手に席を替えたことに憤りを感じた主人公が、学級のために席替えのやり直しを提案する話である。自分勝手な行動やわがままな行動をとることで、いやな思いをする人がいることや、学級の決まりを大切にしたい主人公と勝手に席を替えた生徒の言動を考えることにより、公正・公平について考えることができる教材である。

4 本時のねらい

「公正、公平」について、自我関与することを通して、自己中心的な考え方から脱却し、公正、公平な行動を心がけることの大切さに気づき、学級集団をより良くしようとする道徳的態度を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 少人数学級でも多面的・多角的に考えられる場面の設定
- ② 1人1台端末を活用したまとめ、振り返りの共有

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の発言	留意点や評価の観点 等				
導入	<p>1 本時の主題に関わる問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級で決めたことを守れなかった経験はありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食当番を忘れた ・家庭学習を提出しなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自由な発言を促す 				
展開	<p>2 登場人物の心情を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章中の学級の問題点は何でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自己中心的な人がいること ・周りの友達が注意できないこと <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">生徒の考えが個人に向かった場合</th> <th style="width: 50%;">生徒の考えが集団に向かった場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで決めたことに対して、自分のわがままを押し通そうとすることは、なぜ問題なのでしょう。 ・自分のことだけ考えているから ・周りを考えていないから </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 周りの友達が席を勝手に替えた生徒に対して、注意できない理由は何でしょうか。 ・自分が責められると考えるてしまうから ・勇気がでないから ・みんなで高め合おうとする考えが足りないから </td> </tr> </tbody> </table> <p>(問い返し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ あなたが自分のわがままを押し通そうとする人を見たら、どのように感じますか。 ○ 全員の都合がよければ、席を勝手に替えてもよいのではないのでしょうか。 <p>3 席替えについて議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (あなたが学級委員なら) 席替えを再提案しますか？ <ul style="list-style-type: none"> ・勝手に席を替えたことで嫌な思いをしている生徒がいるのであれば、再提案する。 ・ルールがあっても関わらず、勝手に席を替えてしまうのは、公平ではないから、再提案する。 ・信頼関係をつくるためにも、勝手に替えてしまったことに毅然とした態度で接し、再提案する。 ・勝手に席を替えた理由が、わがままとは限らない生徒もいると思うから、再提案しない。 ・席が後ろだと黒板の字が見えない人に配慮するための決まりだが、現状上手くいっていないので、席替えを再提案するよりも先に、決まりを見直すべきだ。 	生徒の考えが個人に向かった場合	生徒の考えが集団に向かった場合	<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで決めたことに対して、自分のわがままを押し通そうとすることは、なぜ問題なのでしょう。 ・自分のことだけ考えているから ・周りを考えていないから 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周りの友達が席を勝手に替えた生徒に対して、注意できない理由は何でしょうか。 ・自分が責められると考えるてしまうから ・勇気がでないから ・みんなで高め合おうとする考えが足りないから 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人思考→ペア交流→全体交流の順で考えを広げさせるが、より深めさせたい場合は、全体交流→個人思考に戻すことも考えられる。 ・教師がファシリテーターとなり、生徒の発言を促すとともに、発言を整理しながら板書する。 ・自分勝手だったり、わがままだったりする行動により、嫌な思いをする人がいることに気付かせる。 ・1人1台端末を活用し、全員の考えを共有する。 ・「自分ならどうするか」という考えの根拠になっている道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。
	生徒の考えが個人に向かった場合	生徒の考えが集団に向かった場合				
<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで決めたことに対して、自分のわがままを押し通そうとすることは、なぜ問題なのでしょう。 ・自分のことだけ考えているから ・周りを考えていないから 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周りの友達が席を勝手に替えた生徒に対して、注意できない理由は何でしょうか。 ・自分が責められると考えるてしまうから ・勇気がでないから ・みんなで高め合おうとする考えが足りないから 					
終末	<p>4 学習を振り返り、自己の生き方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人一人が気持ちよく過ごすために、学級で決めたことを全員で守っていく際、心がけるべきことは何でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自己中心的な考え方をしないこと ・周りのことを考えること ・公正な行動を心がけること ○ 今日の学習を振り返り、学んだことや考えたことは何ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公正、公平について、自我関与することを通して、公正、公平な行動を心がけることの大切さについて、自分自身との関わりの中で深めているか。 ・1人1台端末を活用し、全員の考えを共有する。 				

